

道徳科を中心とした提言（毛内 嘉威 先生）

1 はじめに

令和5年度、秋田市教育委員会の委嘱を受け、小学校2校、中学校1校の計3校に訪問する機会をいただいた。3校とも、「特別の教科 道徳」（以後「道徳科」）としてその特質を生かした「主体的・対話的で深い学び」のある授業が展開され、「道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育」に取り組まれていた。

学校教育は、教育基本法にある通り、「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」を期して行われなければならない。この人格の完成の基盤となるものが道徳性であり、道徳性を育てることが道徳科を要とした道徳教育の使命である。

道徳科が目指すものは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。道徳科は、学校教育における様々な課題にも対応し、実効性のある指導計画（全体計画・別葉・年間指導計画）を作成して、道徳性を育成するための道徳科の授業（以後「道徳授業」）を構想することである。

2 道徳授業のPDCAサイクルの実現

質の高い道徳授業の構築には、明確な意図をもって指導の計画を立て、授業の中で予想される具体的な児童生徒の学習状況を想定し、学習指導過程や指導方法を工夫しながら、道徳科の主体的・対話的で深い学びを構想し、さらに、授業の振り返りの視点を立てて臨むことである。

こうした指導と評価の一体化の視点をもった道徳授業の実現のためには、計画から授業実施、評価までを一つのサイクルと捉え、授業改善や児童生徒の成長に生かしていくことが大切である。この考え方が、道徳科における指導と評価の一体化であり、道徳授業のPDCAサイクルの実現ということになる。

(1) 「P」— 道徳授業の計画 (Plan)

道徳授業のねらいは、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育てることであり、そのためには児童生徒の実態把握等に基づく指導計画（全体計画、別葉、年間指導計画）が必要不可欠である。それは、教職員が一丸となって、学校教育目標の具現化を図ることである。

まずは、学校・家庭・地域の実態から、どのような児童生徒を育てていくのかを明らかにし、道徳教育の重点目標や重点的に指導する内容項目を設定して取り組むための計画（全体計画、別葉）を立て、全教職員で共通理解することが大切である。

次に、主たる教材としての教科用図書を使用して、重点的な指導や内容項目の関連を密にした指導や一つの内容項目を複数時間で取り入れる指導、効果的な教材の活用方法などを盛り込んだ年間指導計画を作成し、それに基づいて道徳授業を実施することである。

(2) 「D」— 道徳授業の授業実践 (Do)

道徳授業の質的転換を表す「考え、議論する道徳」がある。これは、全ての教科等の学習・指導改善の視点として使われている「主体的・対話的で深い学び」と同じ意味であり、指導と評価の一体化に基づく授業づくりの根本であると言える。

これからの道徳授業は、発達段階に応じ、道徳的諸価値についての理解を基に、道徳的な課題を児童生徒が自分自身の問題と捉え、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を構想し、質の高い授業に質的転換を図ることが求められている。これまで以上に自分との関わりで（自分事として）捉え、多面的・多角的に考えていく授業が大切になってくる。

(3) 「C」— 道徳授業の評価 (Check)

道徳授業においては、児童生徒に主体的に考えさせることを明確にして、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める」という目標に掲げる学習活動が展開されていなければならない。

そのためには、児童生徒にどのような気づきや変容が見られたのかを確認する必要がある。道徳授業の観点でもある「一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか（対話的な学び）」「道徳的価値を自分自身との関わりの中で深めているか（主体的な学び）」そして「自己の生き方について考えを深められたか（深い学び）」という観点から自らの授業を振り返り、児童生徒の学びの姿から道徳授業を捉え直すことは重要である。

(4) 「A」— 道徳授業の改善 (Action)

「主体的・対話的で深い学び」という授業改善の視点から、より質の高い、より効果的な指導を追求することが重要である。そして、忘れてはならないのが、よりよく生きるための基盤となる道徳性が育っているのかを検証することである。そのためには、教職員が成果と課題について共通理解を図ったり、校内研究等を通して深めたりして、質の高い道徳授業を目指してチーム学校として取り組むことである。つまり、アクションを起こすことである。

引用・参考文献

毛内嘉威編著 (2018) 『道徳授業の PDCA —指導と評価の一体化で授業を変える—』
明治図書